



主な掲載内容 <1面> 意外と多い?電気火災! / 消防演習のお知らせ
<2面> 体験が高める防災力! 防災館 / 消防技術安全所一般公開のご案内 / 病院へ行く?救急車を呼ぶ?迷ったら...電話でも!ネットでも!#7119 / プレゼントコーナー

意外と多い?電気火災!

平成28年中の東京消防庁管内の火災件数は3,980件(速報値)でした。電気火災はその4分の1以上です。

注目すべき点として、電気製品やコードなどの電気設備機器が出火原因の火災が、1,033件(速報値)で全火災件数の4分の1以上を占めていて、最近5年間では緩やかな増加傾向にあります。

電気火災の中では、「電気ストーブ(ハロゲンヒータ等を含む)火災」が最も多く、次いで「差込みプラグ火災」「コード火災」が多く発生しています。これからの季節にも起こりうる火災発生原因ですので、それぞれの注意点を確認し、電気火災を防ぎましょう。

電防ごろう!
電気火災!



コンセントは家具の裏などに隠れていて火災を早期に発見しにくいことがあります。注意しましょう!

電気火災はココに注意! ↓

電気ストーブ火災

電気ストーブを点けたまま就寝すると、寝返りの際に掛布団が電気ストーブのガードに接触し、時間の経過とともに過熱され出火することがあります。

- ◆ 寝るとき、その場を離れる時はスイッチを切る習慣をつけましょう。
- ◆ 電気ストーブの近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。

火災例



差込みプラグ火災

コンセントに差込みプラグを差し込んだままにしていると、プラグに埃や湿気が溜まり、微小なスパークを繰り返し出火することがあります。

- ◆ 差込みプラグは、使用時以外はコンセントから抜きましょう。
- ◆ 長時間差したままのプラグ等は、定期的に点検し乾いた布等で清掃しましょう。発熱等の異常がある場合は交換をください。
- ◆ コード部分ではなくプラグ本体を持って抜くようにしましょう。

火災例



コンセントに差したプラグの差し刃間についた埃が湿気を帯び、そこで小さなスパークを繰り返し、時間の経過とともに電気回路が形成され出火する現象をトラッキング現象といいます。

コード火災

コードを足で踏むような場所での使用やタンス・ソファなどの重量物でコードを踏みつけたままの使用は、コード内部が損傷し出火することがあります。

- ◆ コードが、家具などの下敷きや押しつけ等で傷ついたりしないように注意しましょう。
- ◆ コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用したりしないようにしましょう。

火災例



FIRE NEWS 消防演習のお知らせ

一日消防署長にフリーアナウンサーの加藤綾子さんをお迎えし、大規模な消防演習を実施して消防隊・消防団等とともに火災予防を呼びかけます。

- ◆ 日時:平成29年3月1日(水) 9:45~12:00(予定)
 - ◆ 場所:二子玉川ライズ(世田谷区玉川1-14)
 - ◆ イベント内容:消防演習、音楽隊コンサート、防災トークショー等
- お誘い合わせの上、是非ご来場ください。



春の火災予防運動

火災予防運動は、都民のみなさまに防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただき火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

平成29年 春の火災予防運動ポスター